

# 北里大学理学部同窓会報

2013年 第16号



平成24年度 定期総会集合写真

## ● CONTENTS ●

3期目を担当するにあたり……………	P 3	理学部への寄贈品……………	P 17
理学部長就任の挨拶……………	P 4	近況報告パトントッチ『人との縁』……………	P 18
物理学科長就任のご挨拶……………	P 5	集会援助手続……………	P 18
化学科長就任のご挨拶～化学科の近況～……………	P 6	同期会報告……………	P 19
生物科学科長就任のご挨拶……………	P 7	カミングホーム2013について（予告）……………	P 20
新任のご挨拶……………	P 8	間島さん追悼……………	P 20
L1号館の銅像について……………	P 9	就職情報・求人票ご提供のお願い……………	P 21
平成24年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 10	同窓会からのお知らせとお願い……………	P 21
年会費納入のお願い……………	P 12	編集後記……………	P 21
第43回北里大学同窓会講演会を開催して……………	P 13	オープンキャンパス日程……………	P 22
理学部教職員と同窓会役員との懇談会開催……………	P 16	入試日程……………	P 22
卒業研究功労賞……………	P 16	理学部事務から……………	P 23
就職ガイダンス……………	P 17		



# 北里大学

— オリジナルクッキー —

洋菓子 coronpan 製



パルミジャーノレジャーノ、フランボワーズ、カフェアマンド、フィユブラリネ、パニーユ、ショコラアマンド (缶入)

19個入 税込 **¥1,000**

パルミジャーノレジャーノ、フランボワーズ、フィユブラリネ、カフェアマンド、パニーユ、ショコラアマンド、ピスタチオ、カフェアマンド、アマンド (缶入)

33個入 税込 **¥2,000**

北里ライフショップでは、上質でとてもおいしいオリジナルビスケットを販売しております。御自宅用・ご贈答用にぜひご利用ください。全国へ発送も承っております。お電話またはホームページよりご依頼下さいませ。



北里グッズ多数ご用意しております。是非ホームページをご覧ください。



## 北里ライフショップ

営業時間：月～金 8：30～18：00 土曜日 8：30～14：00

※第2・第4土曜日、日曜・祝日は休業

相模原キャンパス内L2号館東側 TEL 042-778-7891 FAX 042-777-6380

URL: <http://kitasato-life.co.jp>



## 3期目を担当するにあたり

理学部同窓会会長 沼上 清彦

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私で良いのかと自問自答しつつも副会長以下、役員諸氏の励ましとも煽てともとれる言葉のってしまい、会長を2期6年担当させていただきましたが、このたび平成24年度定期総会におきまして、再び会長の選任を賜り、他の役員諸氏とともに3期目を務めさせていただくことになりました。何とぞよろしく願い申し上げます。

さて、昨年度は何と申しまして第43回北里大学同窓会講演会を成功させるという命題がありました。宇宙をテーマとする初めての講演会を企画した千葉副会長やこの事業の責任者である蓮沼理事を基軸に甲斐理事、中野理事そして田村理事の絶大なる尽力により素晴らしい講演会を開催できましたことをまずご報告させていただきます。

現在、本会の会員は6,560人で、そのうち衛生学部卒業者が3,556人、理学部卒業者が3,004人と拮抗する数値になりつつあります。理学部は毎年180人ほどの卒業生が出ていますし、衛生学部卒業者は年齢的にも減少していますので、あと3年もすれば逆転することになると思われま

す。本会は会員間の親睦を図ることを目的の一つに掲げており、近年は魅力ある同窓会にするにはどうしたらよいかという古くて新しいテーマに取り組んでいますが、衛生学部と理学部という2つの出身学部を有する本会にとって、この答えを得ることは決して容易なことではありません。それは2つの会員世代間の問題でもあるわけで、今期はこの違いを越えた新しい理学部同窓会の礎を構築できるように取り組みたいと思っています。

ところで、母校北里大学は平成24年に創立50周年を、旧北里研究所が平成26年に創立100周年の節目を迎えるため、現在「KITASATO 100×50」として諸事業が展開されています。この事業の概要や寄附の要請がすでに学校法人北里研究所よりあったかと思いますが、会員諸氏におかれまして

はご高配を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

本会は、これに呼応して平成25年度に「カミングホーム2013」を開催したいと考えています。詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせさせていただきますので、関係者の皆さまにはご協力のほどよろしく願い申し上げます。

最後に会員の皆さまの一層のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

### 北里大学

- 1) 予算規模 976億円 (帰属収入)
- 2) 学 部 7学部 (理学、医療衛生、薬学、獣医、医学、海洋生命科学、看護)
- 3) 大 学 院 6研究科 (理学、薬学、獣医系、水産学、看護学、医療系)  
1学府 (感染制御研究機構)
- 4) 卒 業 生 57,207人

### 理学部の講座研究室

- 1) 物理学科
  - ・フォトニクス講座 (吉國裕三教授)
  - ・非線形物理学講座 (十河 清教授)
  - ・物性物理学講座 (菅原洋子教授)
  - ・生体分子動力学講座 (米田茂隆教授, 学科長)
- 2) 化学科
  - ・分子構造学講座 (石川春樹教授)
  - ・反応機構学講座 (丑田公規教授)
  - ・分子構築学講座 (弓削秀隆教授, 学科長)
  - ・分子機能化学講座 (真崎康博教授, 学部長)
- 3) 生物科学科
  - ・生物情報科学講座 (高松信彦教授, 就職指導委員長)
  - ・分子発生学講座 (花岡和則教授)
  - ・生体防御学講座 (片桐晃子教授)
  - ・生体機能学講座 (太田安隆教授, 学科長)



## 理学部長就任の挨拶

理学部長 真崎 康博

昨年（平成24年）7月より、花岡和則先生の後任として理学部長に就任致しました。理学部は、昭和37年の北里大学開学と同時に設立された衛生学部が、32年を経て平成6年に改組され誕生しました。それからさらに18年が経過して現在に至っております。これまでに同窓会の皆様方からは、理学部生の就職、修学、理学部の入試広報等に関して多大のご支援やご助力を賜り、改めて心より感謝申し上げますと共に、今後も引き続きご支援、ご助力のほど宜しくお願い申し上げます。

さて私は、東北大学大学院理学研究科を修了の後、東京大学教養学部助手を経て、平成8年4月、誕生して3年目の北里大学理学部に化学科専任講師として赴任し現在に至っております。化学に興味を覚えたそもそものきっかけは、高等学校の化学の授業・実験でした。当時、私の出身地の秋田県北部にある花岡、小坂、尾去沢などの大きな鉱山では、黒鉱（くろこう）という銅の含有率が高い鉱石の採掘・精錬が盛んに行われていました。化学の授業時間に、クラス全員で鉱山を訪問し、銅の電解精錬過程や鉱滓ダム等を見学した後、黒鉱をもらって帰り、乳鉢で粉碎し金属陽イオンの定性分析を行った経験は、今でも記憶の中に残っています。大学、大学院と有機化学を専攻し、さらに職を得てからも有機化学分野で、歪みが大きい化合物、導電性化合物、磁性化合物、包接化合物等々、自然界には存在しない新しい化合物をあぐせくしながら作ってきました。助手歴も9年に届こうかという頃、化学科の山本学先生にお声をかけていただき、お世話になることとなりました。赴任当時、分子機能化学講座には山本先生の

ほかに、武田收功先生（現横浜薬科大学教授）、磯部次男先生がおられました。そこに4人目のスタッフとして加えていただき、その当時配属されていた衛生学部の最後の4年生を相手に教育・研究活動を開始しました。

赴任当時、社会はいわゆる“バブル経済”が崩壊した直後でした。それまで経済は常に右肩上がり成長を続け、時代が平成に入った頃には国中が好景気に沸き、学生の就職も完全な売り手市場で、一人が何社も内定を得るのが普通でした。平成9年度、理学部1期生が4年生として研究室に配属されてきた頃は、バブル崩壊後の就職氷河期と言われた時期でした。就職活動でなかなか内定が得られず苦勞した学生もいましたが、結果的にほとんどの学生が就職あるいは進学が決まったことを記憶しています。以来、現在にいたるまで卒業生の就職率は常に95%程度を維持できており、さらに進学率に至ってはほぼ100%となっています。これは、学生諸君の健闘や大学の支援に加え、同窓会の皆様のご支援、ご助力が大きな力となっていることは言うまでもありません。

経済の低迷、少子化等、日本の大学を取り巻く社会環境が今後いっそう厳しくなることは明白であります。このような状況にしっかりと対応し、入学者を確保し、考え行動する力を有する人材を育成し、有望な人材を社会へ送り出すことを念頭に北里大学理学部を盛り立てていきたいと考えております。繰り返しになりますが、同窓会の皆様には今後ともご支援、ご助力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



## 物理学科長就任のご挨拶

物理学科長 米田 茂隆

十河清前学科長の後任として、2012年7月1日付けで物理学科長を拝命しました。微力ですが物理学科の発展のために尽力する所存であります。至らぬ点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は東京大学理学系研究科物理学専攻を修了後、宇宙科学研究所、大正製薬総合研究所、本学薬学部で研究に従事した後、1994年4月の衛生学部改組+理学部開設と同時に物理学科に専任講師として赴任しました。以来、月日のたつのは早いもので、あと2年で理学部開設20周年を迎えます。理学部は衛生学部からの長い伝統をもちますが、新設の物理学科にとってのこの20年近くは教育と研究の共通の価値観の醸成のために様々な問題を試行錯誤しながら解決していく年月だったかと思えます。最近はどうのような学生に入学してもらい、どのように育てていけば良いかという課題についてもだんだんと理想的な事例を発見できるようになっていますが、今後も卒業生であることを誇りに思えるような物理学科をめざしてさらに成熟をはかりたいと思えます。

ご存じと思いますが、本年度の入試より物理学科と生物科学科の入学定員が10名ずつ増え、物理学科定員は50名となります。学科が大きくなることは研究の多様性を確保して教育を充実化する基盤として必要と思えますが、反面、入試倍率の低下が危惧されます。そのため今年度は広報活動に力を入れ、同窓会にも貴重なご協力をいただいております。この原稿を書いているのは本年度入試の前ですが、定員増が広く周知され多数の志願者が得られることを願っております。

入試から卒業に目を向けますと、1990年頃のバブル崩壊以降、たまにある好景気の年を除けば就職環境が優れない状況が続いています。統計によりますと日本人の一人当たりGDPは1990年代はおおむね世界3位を維持していましたが、その

後、急落して現在は15位から20位になってしまいました。経済と文化の発展など不要だ、心安らかに危険のない生活なら良いと言うのなら別ですが、先進国の一員としての日本を目指すなら、日本人は期待された責務をはたすこと（報恩）に気づかねばならないでしょう。つまり、科学技術の探求（叡智）と実社会での実践を通して大きな創造性を発揮し、新しい社会の可能性を開拓して人類文明に貢献することが求められていると思います。幸いにして、物理学科学生には従来からの産業に加え、近年拡大しつつある新しい産業、特にIT企業からの募集が増加しているため、全体として就職は決して劣悪ではありませんが、今後も学生の進路が大きく開けるよう教育と研究を充実させていきたいと思っております。

最近の物理学研究では大規模施設の利用が目立つようになってきました。例えば、大強度陽子加速器施設J-PARC、自由電子X線レーザーSACLA、スーパーコンピューター京（けい）などの施設名はお聞き及びかもしれません。これらは1千億円単位の費用をかけて建設された施設の例ですが、さらに高額な施設も建設されています。物理学研究も大きく変わったと感じざるを得ません。また、1990年代に全国でおこなわれた大学院定員増により研究者という職業がぐっと身近になりました。本学科からも職業的な研究者として華やかな成果をあげている卒業生が出ています。日本はノーベル賞受賞者を輩出する先進国の一員であります。学生諸君は先進国日本の中で果たさなければならない高度な責務に臆することなく、真剣に勉学に努め、自身の可能性に挑戦して欲しいと願っております。

とりとめのない文章になりましたが私の挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



## 化学科長就任のご挨拶～化学科の近況～

化学科長 弓削 秀隆

このたび化学科長を拝名いたしました分子構築学講座教授弓削秀隆です。新任のご挨拶を同窓会報に書いたのがつい先日（第13号）のようで、「もう学科長か・・・」というのが正直な気持ちです。理学部各学科とも教授4人しかいないので、お鉢が回ってくるのは当然と言えば当然のことです。最近では十河前物理学科長が第14号で書かれたのと同様、これまで歴代学科長が学科のとりまとめ、学部運営に御苦労されているのを横目に見てまいりましたから、覚悟して務めるしかない、と考えている次第です。

さて、ありきたりではございますが、化学科の近況報告をさせていただきます。化学科ではここ5年の教授の定年退職に伴う新陳代謝が、今年度の分子構築学講座石川先生の御着任をもって一段落致しました。次は中身の刷新ということで、来年度入学生から新カリキュラムの施行が予定されています。基礎力を高め、「演習と実習」を重視した実践的教育を行う、という従来の基本的な考え方をこれまで以上に徹底させるため、高大接続科目の新設と基軸科目（物理化学、有機化学、無機化学、機器分析学）の講義に加えて、演習と実習を配置します。既設の学科目につきましても一部配当年次の変更を伴いますので一時的な混乱が予想されますが、より現実的な理学教育を目指して努力してまいりたいと存じます。また、大学院では公益財団法人 相模中央化学研究所との連携大学院協定締結から2年を経過し、予定者を含め計3名が進学、順調に経過しています。

学部入学志願者につきましては、少子化の時

代にも関わらず、一般入試ではほぼ一定して600人台を保っており、先代教授の時代から、推薦入学予定者のスクーリング、オープンレクチャー等々、地味に続けてきたことが少しは反映されているのだろう、と考えております。今後ともマンパワーの許される範囲で継続していく予定です。個人的には、同窓会の御子弟に受験校の一つとして、必ず御考慮いただける大学でありたいと考えております。

就職状況は、ここ数年の厳しい経済状況を反映して、全般に苦戦を強いられております。一時堅調であった教員採用も、団塊世代の退職ピークを過ぎたためか、やや減少傾向にあります。同窓会の方々にはこれまでも、大変な御支援をいただいておりますが、就職に関しましてお心当たりございましたら、是非とも一声かけていただきたくお願い申し上げます。

以上、化学科の近況概略を申し述べてまいりました。あまり発展的な展望はありませんが、兎にも角にも、学科長としてなるべく破綻のないように努め、次代にバトンタッチしたいと考えております。重ね重ねではございますが、宜しく願い申し上げます。

（追記）この原稿は随分前から御依頼を受けていたのですが、「今週中になんとかして下さい」という時期まで引き延ばしてしまいました。「はいはい」と言いつつやらない、「書く書く」と言いつつ書かない「はいはい詐欺」または「書く書く詐欺」でございます。同窓会の皆様には深くお詫言いたします。



## 生物科学科長就任のご挨拶

生物科学科長 太田 安隆

このたび生物科学科長を務めることになりました太田安隆です。どうかよろしくお願い申し上げます。私は、東京大学大学院修了後、熊本大学医学部で助手として勤務した後1993年から10年間以上米国ハーバード大学で研究者として毎日実験に明け暮れる日々を過ごしてきました。2007年4月より北里大学理学部に教授として赴任しました。本学部の教授になってから6年間経過したことになります。教授になって変わったことといえば、研究の他にやらなければならない仕事が増えたことです。教授は講義以外に大学の管理運営にも携わっていることは話に聞いていましたが、これが重要な仕事の1つであることを実感したのは教授になってからでした。今回の生物科学科長の仕事もそのひとつだと理解しています。

さて、6年間ここで働いて理学部の良さがだんだん実感できるようになりました。まず第1に、理学部では自然科学の研究者の養成を目指しているので、国家試験対策にとらわれない教育ができることです。北里大学では医師や薬剤師など資格取得を目的にした学部が多いですが、理学部では純粋に自然科学の基礎研究ができる学生の養成を目指しています。これは、単なる知識の丸暗記ではなく科学の研究を直に体験することでマスターできることなので、教員が優れた研究者であることが要求されます。そのためには、我々教員が第一線の研究成果をあげなければいけないと思います。これに関連して、第2に理学部は非常に恵まれた研究環境を持っていることです。校舎もゆったりとしたスペースがあり、動物実験施設など最先端の研究ができる設備を持っています。第3に、北里大学が生命科学の総合大学であり、理学部生物科学科はその利点を最大限に活用できることです。具体的には、医学部、薬学部、生命科学研究

所の研究室と共同研究を進めています。また、生物科学科の学生を卒業研究生として派遣しています。彼らの多くは、そのままその大学院に進学し、大学院生として活躍しています。

生物科学科は、生物情報科学、分子発生学、生体機能学、生体防御学の4講座で構成されています。学科全体として、高次生命現象を分子レベルで解明することを目指しています。そのため学部では、遺伝子やタンパク質の振る舞い、細胞の構造や働き、そして発生や免疫の基礎を分子レベルで理解できるように学習してもらっています。そして基礎知識をしっかり身に付けたうえで、卒業研究や大学院で最先端の研究に参加してもらうようにしています。

最近、国際化社会に向けた大学の対応が重要な課題になっています。私は、ハーバード大学に長く勤めた関係で、かつての同僚や友人が現在もハーバードで働いています。そこで、北里大学理学部の学生を連れて夏休みにハーバード大学で講義を受けたり施設見学を行う取り組みを始めました。この企画に参加した学生達は世界でトップクラスの学術環境に触れることができ、非常に有意義な経験を得ることができたと思っています。昨年は、ハーバード大学で研究している若手研究員を数名相模原キャンパスに招待し、セミナーをしてもらいました。多くの学生や教員が外国人研究者と直に接する機会を作ることができ、来日した研究者達も日本文化に接することができたので、お互い有意義な経験になったと思います。この企画は、しばらく継続できればよいのではないかと考えています。

以上、微力ながら北里大学理学部の為に全力を尽くす所存でありますので、同窓会の皆様の御指導をお願いし、就任の挨拶と致したいと思います。



## 新任のご挨拶

化学科分子構造学講座教授 石川 春樹

2012年4月1日付けで理学部化学科分子構造学講座の教授に着任致しました石川春樹です。若輩者で至らない点もあるかと存じますが、同窓会員の皆様にはよろしくお願い致します。

私のこれまでの研究を一言でまとめると、レーザー分光法を用いた気相分子および分子クラスターの構造と反応の研究ということになります。分子クラスターとは原子や分子が共有結合よりも弱い分子間力で結合した分子集合体で、凝集系の反応・動力学的モデル系とみなすことができます。本学の教育・研究の中心となる生命科学と気相分子の研究では大きな隔たりがあるように思えますが、水素結合に代表される分子間相互作用は生体分子内でも構造や反応に重要な役割を果たしておりますので、まずはそれを取りかかりに生命科学への貢献ができるように研究を進めていきたいと考えております。

私の出身地は愛媛県松山市で高校卒業までずっと住んでおりました。当時は（今では面影もありませんが）陸上部に所属し、日々練習に勤しておりました。高校卒業後は大学（東京）、大学院（東京・京都）、ポスドク（マサチューセッツ）、助手（仙台）、准教授（神戸）、そして教授で北里（相模原）と、国内外を転々として来ました。高校までの18年を除くと、一番長く居たのが助手時代の仙台（10年と2ヶ月）でしたが、今後高校までを越えて長く腰を落ち着けることになります。

私のこれまでの教育・研究の場はMITを除くと、国立大学でした。今回初めて、私立大学で活動することになります。前任の神戸大学では学科定員が30人で教員が20名弱でしたから、数字の上では、北里では3倍近い学生と向き合うことになるので、学生との距離が遠くなるのではと思っていました。しかし、実際に着任して様子を見てみると、思っていた以上に学生との距離が近いことがわかり安心しました。研究室の学生は言うま

でもなく、学部1年生でも気軽に質問など部屋に来てくれることは、うれしい予想外でした。確かに私立大学ならではの違いや問題を感じることはありますが、早く対応できるようにしていきたいと思っています。

この北里大学は、研究の場として6つ目になりますが、このように異動を繰り返していると、科学的ではありませんが、運や縁に助けられることが良くあります。私の大学院生時代の指導教官は京都大学の梶本興亜先生でした。博士課程では当初修士のときの研究を続けていましたが、梶本先生がたまたま応募した研究費のために、シリレンラジカルの実験を行いました。測定したスペクトルの解析をしているうちに、興味の内容は分子の高振動励起状態へ移っていきました。博士3年のときに、マサチューセッツ工科大学のRobert W. Field教授が観光のために京都へ立ち寄った際に、旧知の梶本先生を訪ねて大学へ来られました。その日は土曜で他に人が居らず、偶然私が研究の紹介をすることになりました。しかし、そこで興味を持ってもらったことが、博士取得後にField教授の下でポスドクをするきっかけとなり、私の研究の中でも自信作となるHCP分子の高振動励起状態の研究を進めることができました。また、東北大学時代の講座の教授の三上直彦先生にお聞きした話ですが、まだ私が博士学生の頃、ある討論会で三上先生の学生の発表に対して私が質問をしたことがありました。発表していた学生が初めての発表だったらしく、困らせた形になったのですが、その時に三上先生に覚えてもらえたようです。このほかにも、運や縁がプラスに働いたことはいくつもあります。今後、どのような運や縁に巡り会えるかはわかりませんが、いろいろな出会い（人だけではなく、研究テーマなどでも）を大切にしていきたいと思っています。





## 新任のご挨拶

生物科学科生体防御学講座教授 片桐 晃子

2012年4月1日付で生物科学科生体防御学講座の教授として着任しました片桐晃子（カタギリコウコ）と申します。同窓会員の皆様には今後いろいろお世話いただくことになると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

理学部とは、生命のしくみ「理（ことわり）」を考え発見する研究者を育てる学部であるとの思いで、前職（関西学院大学理工学部生命科学科教授）より、理学部で教鞭を取ることを決意致しました。私の専門とする免疫学は医学研究だけではなく、生命科学においても先端を担う分野のひとつです。近年、分子レベルで免疫システムの解明が大きく進みました。しかしながら、アレルギーや自己免疫疾患の発症機構の解明と治療法の開発など、今後に残された課題は多く、社会的にも大きく期待されている生命科学の研究分野です。将来を担う免疫学者をこの北里大学理学部で育てることを目標に、全力で研究と教育に取り組みたいと思います。

免疫の「疫」は悪疫の疫を意味します。従って免疫は悪疫すなわち伝染病を免れることを意味し

ます。免疫の概念は古く、10世紀には天然痘の臨床的観察を通して、「二度なし現象」（一度感染すると二度と同じ病原体に感染しない）の記述がなされています。18世紀末、ジェンナーが牛痘を人為的に接種（種痘）することによって天然痘の発症を予防することに成功し、医学としての免疫学が始まりました。その後19世紀末、パスツールはコレラや炭疽菌などの感染予防法の確立へと免疫学を拡大していき、実用的なワクチンが開発されます。そして、1890年、北里大学の創設者である北里柴三郎による「血清療法」という画期的な発見によって、「抗原」とそれを認識し排除する「抗体」という免疫学の根幹となる概念が確立されることになります。

学祖北里柴三郎の「科学者としての真の学問追求」を精神的な基盤とする北里大学で、免疫学の研究・教育に携われることは望外の幸せです。北里大学が、今後も最先端に位置する教育学術研究機関であるように微力ながら貢献し、生命科学をリードする研究者、教育者を養成することに努めたいと思います。

## L1号館の銅像について

2012年11月10日～12月16日に、「北里柴三郎－伝染病の制圧は私の使命－」展が相模原市立博物館で行われていました。これまで相模原キャンパスの教養図書館3階に展示してあった北里柴三郎先生を始め8体の銅像がこの期間中に貸し出されておりましたが、この展示が終了後、現在はL1号館1階のロビーに展示されています。





# 平成24年度理学部同窓会定期総会報告



平成24年5月20日(日)、白金キャンパス 薬学部1号館6階1604会議室において開催された平成24年度理学部同窓会定期総会の結果をご報告します。なお、総会資料ならびに最新の同窓会情報などはHP (<http://homepagel.nifty.com/kusaa/index.html>) に掲載しています。

**出席者:** 48名(第1号議案の3名、第2号議案の6名を含む)；岡本義久、長原勝彦(1HC)、坂口洋、櫻井典子(2HC)、山岡輝昭、竹澤美男(4HC)、中野勝雄(5HC)、沼上清彦(6HC)、麻生綱男(8HC)、石川一郎(9HC)、國香清、蓮沼良一(11HC)、藤本玲子、間島勝徳、島崎道弘、氏家重夫(12HC)、森孝之、内田宏(14HC)、伏見尚登(16HC)、須貝昭彦(18HC)、八井田文子(19HC)、甲斐恒人(20HC)、鈴木芳弘(21HC)、小泉博之(22HC)、竹尾文彦(26HC)、木村武俊(1HB)、千葉貴子、佐藤康之(28HC)、秋本護、前川敏郎(4HB)、渡辺知広(30HC)、村上裕章(31HC)、細江裕子(5HB)、酒井利奈(1SP)、田村啓(4SB)、三浦慎一郎(5SB)、千ヶ崎裕介(7SC)、松本俊英(8SP)、荒木恒平(9SC)、齋藤昂良(10SB)、小林宣文(11SP)、曾根靖人(11SC)、奥田悠介(12SP)、高嵩美文(13SP)、厚木将志(13SC)、杉本愛(15SP)、田中雅史(15SC)、新井慧(15SB)

**委任状提出者:** 32名；伊藤正善(6HC)、石水和我夫(10HC)、衣川佳美(13HC)、根岸恵一(14HC)、星名達行(15HC)、山田淳(17HC)、飯島宏(20HC)、山下宣行(23HC)、椎名文乃(24HC)、小笠原正勝(25HC)、長谷部浩司(27HC)、伊藤昌史(1HB)、吉田奈美(29HC)、福山勝也(31HC)、井村幸介(6HB)、桑原美保子(1SP)、中條綾子(1SC)、吉瀬晴子(1SB)、平山幸司(2SP)、江島史緒(2SB)、山本あゆみ(3SP)、中野章代(3SC)、小林麻衣(4SP)、福島唯実、藤井祐介(4SC)、東海林周平(6SC)、佐々木千明(6SB)、大滝正訓(7SP)、吉野成嗣(7SB)、田草川英昇(9SP)、富澤良弘(10SC)、石毛達也(12SB)

**欠席者:** 28名；加藤武彦(2HC)、西尾公男(3HC)、石原裕三(7HC)、立松佐吉(18HC)、北村光宏(23HC)、

櫛部一彦(26HC)、坂内健志(2HB)、嶋宮民安(3HB)、矢口晶(4HB)、吉野典利(32HC)、河合匡(2SC)、矢野太一(3SC)、小林琢也(3SB)、吉本真紀子(4SB)、大西新(5SP)、田辺由美子(5SC)、國廣喜央司(6SP)、武者孔佑(7SP)、鈴木健太郎(8SC)、森口友敬(8SB)、岡田絵真(9SB)、今村敦(10SP)、石村早紀(11SB)、上村勇介(12SC)、上村和豊(13SB)、保住厚兵(14SP)、神田章宏(14SC)、新山勇人(14SB)

<第2号議案終了後、総会構成員数は108名>

## 1. 開会の挨拶

司会の村上理事(31HC)から、規約第15条第2項より、総会構成員数105名に対して1/3以上の出席があり、総会が成立することが報告され、開会を宣言した。

## 2. 議長団の選出

議長に麻生代議員(8HC)、副議長に藤本理事(12HC)、書記に木村理事(1HB)、田村理事(4SB)、議事録署名人に前川理事(4HB)、松本代議員(8SP)が全会一致で承認された。

## 3. 沼上同窓会会長挨拶

沼上会長(6HC)から、日頃の同窓会活動の理解と協力に対する謝辞が述べられ、昨年度の大学、理学部および本会の状況についての説明があった。また、大学が50周年を迎えるにあたり「カミングホーム2013」開催の意向が述べられた。

## 4. 報告および決議事項

### ★報告事項

#### 1) 平成23年度事業報告および平成23年度収支決算報告の件

千葉事業担当副会長(28HC)から平成23年度事業報告、須貝財務担当副会長(18HC)から平成23年度収支決算書に沿ってそれぞれ報告した。

#### 2) 監査報告の件

櫻井監事(2HC)から、平成23年度の会計および事業執行について監査をした結果、正確かつ妥



当であったと報告があった。

平成23年度の事業、決算および監査報告が全会一致で承認された。

#### ★決議事項

##### 第1号議案 代議員3名選出の件

沼上会長から、杉本愛氏（15SP）、田中雅史氏（15SC）および新井慧氏（15SB）の新代議員の提案があり、選任され、新代議員3名の挨拶が行われた。

##### 第2号議案 代議員交代15名交代の件

沼上会長から、15名の交代代議員の提案があり、選任され、出席した交代代議員から挨拶が行なわれた（交代代議員15名の氏名はHPを参照して下さい）。

##### 第3号議案 継続代議員選任の件

沼上会長から、新任および交代代議員以外の現在代議員について、継続として一括で選任（再任）する提案説明が行なわれ、承認された。

##### 第4号議案 平成24年度事業計画案および

##### 第5号議案 平成24年度予算案の件

千葉事業担当副会長から平成24年度事業計画案、また須貝財務担当副会長から平成24年度予算案に沿ってそれぞれ提案説明が行なわれた。

質疑応答後、全会一致で平成24年度事業計画案および収支予算案が承認された。

##### 第6号議案 役員選任の件

沼上会長から、役員選任の提案説明が行なわれ、原案通り承認された。

#### 平成24年度事業計画

##### 1 会報の発行

同窓会報第16号（通算42号）を平成25年1月に発行する。

##### 2 学部教職員との懇談会の開催

学部教職員との懇談会を平成23年7月21日（土）に開催する。

##### 3 会員集会援助の継続

同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一主旨の会への援助は年1回までとする。

##### 4 ホームページの更新

新しい情報を会員へ提供するため、ホームページをリアルタイムに更新する。

##### 5 会員情報の管理

本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を新システムにより管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。

##### 6 第17回就職ガイダンスの開催（理学部との共催）

平成24年10月20日（土）に理学部3年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。

##### 7 北里大学同窓会講演会の開催

北里大学同窓会講演会(医療衛生学部同窓会担当)に協力する。

##### 8 学部への寄贈

- 1) 物品寄贈：50万円相当の物品を寄贈する。
- 2) 図書寄贈：10万円相当の学生（準会員）利用図書を学部図書館へ寄贈する。

##### 9 第7回「卒業研究功労賞」の表彰

卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。

##### 10 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）

卒業記念パーティーに祝い金を持参する。

##### 11 「カミングホーム2013」開催準備（北里OB教師の会との共催）

平成17年11月及び平成20年10月に北里OB教師の会との共催で開催した「カミングホーム」を平成25年度に「カミングホーム2013」として開催できるよう準備を開始する。

#### 平成24年度予算

##### <収 入>

費 目	H24年度予算	H23年度予算
学 部 還 元 金	4,740,000	4,590,000
年 会 費	390,000	380,000
会 報 補 助 金	328,000	319,000
利 子	4,000	5,000
前 期 事 業 資 金	250,000	0
積 立 金 戻 入	0	1,000,000
繰 越 金	939,063	846,768
合 計	6,651,063	7,140,768



## &lt;支 出&gt;

分類	費 目	H24年度予算	H23年度予算
運営費	会 議 費	1,200,000	1,450,000
	事 務 局 費	1,560,000	1,510,000
	渉 外 経 費	300,000	200,000
事業費	集 会 援 助	200,000	200,000
	会 報	1,300,000	1,250,000
	就職ガイダンス	400,000	300,000
	教職員との懇談会	250,000	250,000
	学部への寄贈品	600,000	100,000
	講演会協力費	100,000	100,000
	卒業研究功労賞	200,000	200,000
	ホームページ	40,000	40,000
	カミングホーム	50,000	0
	準 会 員 支 援	150,000	130,000
	災 害 義 援 金	0	1,000,000
積 立 金	0	0	
次 年 度 事 業 資 金	0	250,000	
予 備 費	301,063	161,768	
合 計		6,651,063	7,140,768

## 主な質問と回答

- Q-1 齋藤代議員（10SB）から、「卒業研究功労賞」の受賞者10名から9名への変更理由。
- Q-2 麻生議長から、石碑の内容はホームページなどに記載があるか。
- Q-3 國香代議員（11HC）から、住所不明者1名の今後と代議員総数について。
- A 沼上会長から、代議員総数について今後検討を行って行かなければならない。
- Q-4 三浦代議員（5SB）から、名簿管理の新会員システムとはどのようなものなのか、また北里OB教師の会は、教師になった卒業生の会？退職された大学教員の会？また、カミングホームに退官された教員は参加しますか？
- A 沼上会長から、大学同窓会が導入しているシステムで、細かい情報も組み込まれており、本会も利用している。北里OB教師の会は、卒業生

が組織している団体。今回予定のカミングホームは、高校教員（卒業生）を対象としている。個人情報保護の観点から、本会として退官された教員へ直接連絡をとることが難しい。しかし、大学として50周年を記念して、カミングホームを行う予定もあり、その際に退官された教員も招待することも可能かもしれない。

- Q-5 松本代議員（8SP）から、卒業研究功労賞について、物理学科だけ2名なのはなぜか。

杉本代議員（15SP）から、本会から物理学科も4名にするよう提案はできないか？

この質問に関して、岡本（1HC）、小林（11SP）など各代議員から予算を含んだ意見があり、活発な討議が行なわれた。

- A 沼上会長から、物理学科も他学科同様4名にすることが重要であり、懇談会で学部への理解をしてもらえるよう努力していく。予算については、現行の提案を承認して頂ければ予備費から拠出したい。

麻生、千ヶ崎（7SC）各代議員から、寄贈物件や物品寄贈の金額と経緯についての質問、山岡代議員（4HC）から定期総会会場と日時についての意見と竹澤代議員（4HC）からOB教師の会に於ける活動と就職に於ける協力の発言があった。

- 謝辞 杉本代議員（15SP）から、卒業記念パーティー委員として本会の援助や卒業記念パーティーへの出席を感謝したい旨発言があった。

## 5. 議長団の解任および閉会の辞

村上理事から、議事の終了が宣言され、議長団が解任された後、閉会を宣言した。

昨年以上の活発な討議が行なわれました。来年の定期総会は相模原キャンパスの理学部校舎にて平成25年5月18日（土）に開催となりました。来年度も宜しくお願いします（総務担当記）。

## 年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動のために年会費の納入のご協力をお願いします。

**年会費：3,000円**      **納入方法：郵便振替**

（同封の振込用紙をご利用下さい。手数料は無料です。）

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。宜しくお願いします。

## 第43回北里大学同窓会講演会を開催して

HC11 蓮沼 良一

第43回北里大学同窓会講演会は、理学部同窓会の担当により、小田急ホテルセンチュリー相模大野において平成24年2月26日（日）に開催しました。講演会のタイトルは「宇宙技術が私たちにもたらすもの」で、サブタイトルは「ジュニアから大人までわかる相模原市発の宇宙開発と日本・世界の宇宙医学のお話！」とし、宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）から2名の先生に講演をお願いしました。

JAXA宇宙科学研究所宇宙科学情報解析研究系教授の阪本成一先生には、「宇宙（そと）に出てはじめてわかる地球（うち）」～はやぶさが教えてくれたこと～、また、JAXA有人宇宙技術部宇宙飛行士健康管理グループ医長の嶋田和人先生には、「宇宙で暮らすとは？」～宇宙に長くいるとどうなるの？～、というタイトルでお話いただきました。

阪本先生は、世界最大の電波望遠鏡であるアタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計（ALMA）計画に携わられた経歴をお持ちであり、嶋田先生は、米国宇宙専門医で、NASAジョンソン宇宙センターに計5年駐在後、現職に就かれて、日本人宇宙飛行士の健康管理を担当、日本人飛行士の14

飛行のうち8飛行の打ち上げ・着陸の医学支援を行った経歴をお持ちです。

講演は、阪本先生、嶋田先生の順にお願いし、最後にまとめて質疑の時間を取りましたが、反響が大きく質問が途切れませんでした。質疑応答では、はやぶさが持ち帰った物の中には残念ながら生命物質はみつからなかったこと、木星探査は計画を進行中であること、大きな宇宙ステーションは小さなブロックパーツをまず軌道に乗せ、それらを結合させてつくることなどが説明され、JAXAに就職したいのならプライオリティーを持つこと、協調性が大切であること等のアドバイスもいただきました。

これまで理学部同窓会が担当してきた講演会は、医学・医療を題材としたものが多く、今回ようやく本会らしいテーマにたどり着いた感があります。そして参加者は定員の100名を上回る106名を数え、大盛況でした。講演は非常に中身が濃く、しかも解り易く、小学生から熟年層までの幅広い年齢の聴講者に満足していただけたと感じており、担当責任者として大変嬉しく思っています。最後に本講演会を開催するにあたり、ご協力いただきました関係各位に感謝申し上げます。



質疑応答の様子（左から阪本成一先生と嶋田和人先生）

## 福利厚生についての説明

昨年、本会会員の福利厚生を目的に「シエル倶楽部」(株式会社アコメイズ葬祭)との間で団体会員契約を締結いたしました。会員の皆さまにおかれましては、アコメイズ葬祭へ直接ご連絡いただき、本会会員であることを申し出ていただければ葬祭プランの割引などさまざまな特典をご利用いただけます。また、全国48ヶ所のKKR直営ホテル&

旅館を優待価格でご利用いただくこともできます。なお、株式会社アコメイズ葬祭に対して本会会員の個人情報を提供することはございませんので、個人の責任のもとご活用くださいますようお願い申し上げます。

詳細はアコメイズ葬祭ホームページ(<http://www.acommeaide-sousai.com>)でご確認ください。

# 安心葬儀。

家族葬が安心。

もしもの時に安心。

事前相談で安心。

費用が安心。

スタッフが安心。

葬儀後も安心。

詳しくはホームページをご覧ください。

安心葬儀

検索



[国家公務員共済組合連合会] 特約店

# アコメイズ葬祭

〒153-0043 東京都目黒区東山1-15-8 東山ISビル

## あらゆるお葬儀に対応。特別割引にてご提供いたします。

アコメイズ葬祭では、ご遺族様と故人様の想いにお応えするため、火葬式、一日葬、家族葬、一般葬、社葬すべてのお葬儀に対応しております。

また、ご逝去からご遺骨の安置まできめ細かく配慮した「基本サービスセットプラン」をご用意し、北里大学理学部同窓会会員様のために、特別割引にてご提供させていただきます。

### 「基本サービスセットプラン」に含まれるサービス

●祭壇(白木・生花)●棺一式●仏衣一式●枕飾り一式●遺影写真●通夜・葬儀司式進行●会葬礼状●ドライアイス(※1回分)●生花装飾受付・焼香●枕花●後飾り祭壇●運営奉仕員(※1名)●各種申請書類手続き代行●搬送費(※ご移動距離1回10km以内)※数量はプランによって異なります。

※式場費、通夜振る舞い・精進落し他飲食代、火葬費、骨壺代、返礼品、霊柩車・マイクロバス等の車両費、車両・式場・火葬場人員への心付け、付帯設備費用などは「基本サービスセットプラン」には含まれないプランもあります。ご必要の場合は別途費用が発生いたします。詳細につきましては、担当者へお問い合わせください。



25%  
OFF

基本サービスセットプラン+

### 白木祭壇

昔ながらの葬儀の雰囲気。格式ある祭壇です。

規模やご予算などに応じ各種白木祭壇プランをご用意しております。費用等詳細につきましてはお問い合わせください。



25%  
OFF

基本サービスセットプラン+

### 生花祭壇

季節の彩りのある祭壇で故人様を送ります。

規模やご予算などに応じ各種生花祭壇プランをご用意しております。費用等詳細につきましてはお問い合わせください。



## 皆様の「信頼」に応える全国葬祭ネットワーク。

当社は、KKR(国家公務員共済組合連合会)全国葬祭ネットワーク事業のコールセンター業務を兼務しており、関東甲信越地区のブロック店に認定されています。北海道から沖縄まで8地区にブロック店を設け、それぞれの傘下に信頼できる合計2百数社の葬儀社と特約契約を締結しております。"もしも..."の時、葬祭コールセンターにご連絡いただければ、ご要望をお聞きした上で、直ちに全国葬祭ネットワークより最寄りの葬儀社へ連絡の上、迅速にご対応させていただきます。

※25%特別割引につきましては、アコメイズ葬祭へお葬儀を依頼された場合に限りさせていただきます。全国葬祭ネットワークのサービスより紹介した葬儀社へご依頼された場合は、各葬儀社の割引率が適用されず、各葬儀社の詳しい割引率につきましては、下記の葬祭コールセンターまでお問い合わせください。

## 24時間・365日 ご相談承ります。

- もしもの時のお迎え
- 寝台車お手配
- 葬儀式場ご相談
- 遺品整理・お焚き上げご相談
- 香典返し品ご相談
- 仏壇・仏具ご相談
- 墓地・墓石ご相談
- 法要・仏事ご相談
- 僧侶・神官ご紹介
- 遺言・遺産整理ご相談 他

お花 生花、枕花 法要花、祝花 他 **全国発送します** **送料無料**

北里大学理学部同窓会 会員様 **限定** 全国一律 **10%割引**



お問い合わせ・ご依頼は〈葬祭コールセンター〉24時間・365日受付対応

— ※お電話の際、北里大学理学部同窓会会員の旨、必ずお伝えください。 —

**0120-919-556**



## 理学部教職員と同窓会役員との懇談会開催



平成24年度理学部教職員と同窓会役員との懇談会が7月21日（土）に開催されました。平成24年7月から新体制となった理学部から、真崎学部長、米田物理学科長、弓削化学科長、太田生物科学科長、高松就職指導委員長が、事務室からは、寺本事務長、田中課長補佐、花田係長と椎本職員が出席され、同窓会からは、沼上会長を含めた役員12名が出席しました。当日は北里大学進学相談会の「第1回オープンキャンパス」が相模原キャンパスにて開催されたため、理学部の教職員の皆さまにはご多忙の中をご出席いただいた次第です。

沼上会長の開会挨拶後、真崎学部長から学部の近況報告を、米田、弓削、太田各学科長から各学科の状況などを、高松就職指導委員長からは就職状況に関して、それぞれ説明をいただきました。更に寺本事務長から本会の活動について謝辞がありました。

懇談会は長原総務担当副会長の司会進行で、同窓会から沼上会長が今期の抱負を、千葉事業担当副会長から平成24年度事業計画概略の説明を、また10月22日（土）開催の学部との共催である就職ガイダンスについて、甲

斐就職ガイダンス担当理事から進捗状況の報告が行われました。これに関連して花田係長から就職ガイダンス実施要領案について説明がありました。さらに沼上会長から、平成25年度に予定されているカミングホーム2013の説明や平成24年度定期総会で代議員より要望のあった卒業研究功労賞に於ける物理学科の被表彰人数についての主旨説明と検討の依頼が行なわれました。

その後、フリートーキングで意見交換を行い、今年の懇談会も和やかにかつ活発な意見交換が行われましたことを報告します。



## 卒業研究功労賞

平成24年3月23日（金）、ANAインターコンチネンタルホテル東京において、北里大学理学部卒業パーティーが開催され、本会会長より第5回卒業研究功労賞の表彰が行われました。

### 『大学生生活を終えて』

#### SP16 酒井 咲希

この度、このような素晴らしい賞をいただけることになり、まさかという驚きの気持ちと、とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。私は卒業研究を理学部物理学科フォトニクス講座で行いました。この1年間は、今までにないくらい真面目に大学に通い、充実した学生生活を過ごすことができました。3年生までは色々なことに手を出し、すべて中途半端でおわっていましたが、初めて最後までひとつのことに真剣に取り組むことができました。これは周りの先生、先輩、友人達の支えがあったからこそできたことだと思います。先生には研究以外にも普段聞きなれないスイーツを教えていただいたり、友人とは美味しいものを食べるにいたり、とても楽しく過ごすことができました。また、不安なことがあったときは助けてもらい、今でもその時言われたことを思い出し救われることがあります。大切な人たちと出会えることができた北里大学での生活を、私はとても誇らしく思っています。

現在は、北里大学理学研究科分子科学専攻に進学し、フォトニクス講座でフォトクロミック化合物を用いたタンパク質の機能制御を目指して研究を行っています。うまくいくことばかりではありませんが、将来的に様々なものに応用していける研究内容だと思っており、とてもやりがいを持って励んでいます。これからも北里大学で学んだことを社会に出てからも生かし、社会貢献していきたいと思っています。

最後に、両親や今日までに出会えた全ての人達に感謝致します。





## 就職ガイダンス

平成24年10月20日(土)、L1号館41講義室において、理学部3年生を対象とした就職ガイダンスが開催され、講演と模擬面接が行われました。今回初めての試みとして、模擬面接を予めVTR撮影し、その映像を見ながら講評する形をとりました。

### ・就職講演「(株)伊藤園と飲料業界」

株式会社伊藤園  
能力開発部 採用課長 石原彰夫 氏

### ・主講演「就職ってなに」

株式会社伊藤園  
経営企画部(弁理士) 花崎健一 氏(SB09)

### ・ミニレクチャー

株式会社シミックエムピーエスエス  
教育研修事業部マネージャー 藤田嘉一 氏(HC17)

### ・模擬面接・講評

株式会社シミックエムピーエスエス  
教育研修事業部マネージャー 藤田嘉一 氏(HC17)

株式会社シミックエムピーエスエス  
教育研修事業部副部長 菊岡幸三 氏

株式会社シミックエムピーエスエス  
教育研修事業部マネージャー 原 輝享 氏  
GRIトレーニング&コンサルティング株式会社  
代表取締役 松下純也 氏

## 『模擬面接から得たもの』



理学部化学科 徳井 智章

今回の模擬面接の受験者役をやらせて頂いて、私は本当に貴重な経験をする事ができました。

私は模擬面接を受けるまでは、就職活動まで時間もあるしまだ本格的には動かなくてもいいかなと考えていたところがありました。しかし、模擬面接を受けてみて自分の考えていることがいかに甘かったかを痛感しました。面接を受ける前に実際に履歴書を書いてみると、自分の長所が何なのか、それをどうやってアピールできるのかわかっていない、いざ面接をしてみると受け答えの仕方も準備不足で自信の無さを露呈してしまう、うまく行かないことだけでなく、これが本番でなくて良かったと思いました。この模擬面接での失敗を通して、自己分析、企業研究、面接の練習などの準備がいかに大切であるかわかり、就職活動に対する考え方が変わりました。また実際の面接の雰囲気を感じることができたので、本当に得るものが多かったです。何よりも、今回面接官をやって頂いた企業の役員の方々からのアドバイスはとてもためになりました。自分では気付かない欠点を細かく指摘して頂き、どのように改善していけば良いのか指導して下さったので本当にためになりました。

今回、このような貴重な経験をさせて頂いたことにも感謝しています。この経験はこれからの就職活動に大いに役立つし、大きな自信になると思います。

最後に、模擬面接に携わった全ての方々には心からお礼申し上げます。

## 『人に見られるということ』



理学部生物科学科 佐川 暢保

今回の模擬面接は実際に就職活動で行われる面接と、とても近い形で行われ、自分ではこのような面接の練習をしようとしてもなかなかできない貴重な体験をする事ができました。実際に模擬面接を受けてみることで、

今回の時間がどれだけ身になることかを感じ、このような機会に出会えたことをありがたく思っています。最近は景気の低迷で新卒をなかなか企業は採用しないため、就職活動は困難を極める状態です。そのため私の面接に対する面接のイメージはどれだけ相手に気に入ってもらえるか、手段を選ばずに相手に合わせるといったことが重視されたものといったマイナスのものでした。しかし、今回の模擬面接を受けることによって、企業の人事の人たちの立場の考え方を知り、また自分は面接の時間をとっていただき、面接させていただいてるという立場にあることから相手にどんな気持ちと態度で臨むべきかという就職活動に関わらず基本的に身に付けておかなければならないことについて考える必要性を感じました。後で見た面接風景のビデオでは、普段の自分のくせや就活についての悩みなどが普段無意識なだけに他の人からはどう見えているかが驚くほど気づかされました。練習なしで臨んでいたら、、、と今回が本番でないことにほっと一息つくほどです。今回のことから、面接会場だけちゃんとすればいいといったことがどれだけ難しいかを感じました。やはり、普段の生活がちょっとした動作に表れてしまうので、日常から他人の目を気にし、どう映るかを意識した生活を心がけ、本番までに少しずつ修正していきたいと思います。

## 理学部への寄贈品



ベンチ寄贈 2台



図書寄贈 38冊

# 近況報告バトンタッチ ～島田 賢一さんからのバトンタッチ

『人との縁』

SB06 脇田 大功

理学部生物科学科6期生の脇田大功と申します。この度、生体防御学講座にてお世話になりました島田賢一さんよりバトンを受け、近況報告をさせて頂くことになりました。

私は2003年に理学部を卒業後、北海道大学大学院医学研究科へと進学して博士号を取得し、2009年から3年間、同大学の遺伝子病制御研究所にて助教として研究生活を送ってまいりました。兼ねてより米国での研究を希望しておりましたが、この度、偶然にも島田さんからのこの原稿依頼がきっかけとなり、10月より、島田さんが勤務するシダースサイナイメディカルセンターでポスドク研究員として新たな研究に従事しております。この原稿を書いている現在は渡米してまだ1ヶ月で本格的な研究はまだ始まっていないので、今回は、これまで北海道大学にて携わってきた研究についてご紹介したいと思います。

私は、北里大学生体防御学講座にて免疫学研究の基礎を学び、それを基に北海道大学では“がん”と“免疫”に関する研究を行ってきました。ご存知の通り、がんは日本における死因の第1位を占め、その治療法の研究・開発が非常に盛んに行われています。がんの治療としては、外科的切除、放射線治療、抗がん剤などの化学療法が主要な治療法として知られ、近年では分子標的治療と呼ばれる新たな治療法の効果が注目されています。このような中、私は、細菌やウイルスなどの不要な異物を排除するため、元来人間に備わっている“免疫システム”に着目し、免疫細胞を利用して不要ながん細胞を排除するがん免疫治療の開発に取り組んでおります。

免疫細胞には、いろいろな種類の細胞が含まれ、がん細胞などの排除に有益な細胞群もあれば、むしろそのような細胞群を抑制するものも存在しており、免疫システムは絶妙なバランスを保って、健康な状態を維持しています。しかし、このバランスが崩れると、反応すべきでない物質（花粉や食物、金属など）にまで過剰に反応するアレルギー疾患や、自分自身を攻撃してしまう自己免疫疾患の引き金となります。がん患者では、がん

細胞は免疫細胞から攻撃されないようにするため、過剰な免疫抑制状態を誘導し、本来がん細胞を攻撃するキラーT細胞などが不活性な状態に陥っています。そこで、「如何にして免疫抑制状態を打破するか?」「如何にしてキラーT細胞の機能を高めるか?」を科学的に解明する事を私の研究課題としています。これまで、実験動物を用いた基盤研究を実施してきましたが、その一部が、がん治療の臨床研究へと発展しており、研究者として人々の健康へ貢献できるやりの強さを強く感じております。

私生活では、3年前に結婚し、この9月に長男が誕生しました。子供が産まれた事や米国での挑戦が始まった事で人生の大きな転機をむかえ気を張っている毎日です。しかし、米国での生活において、より広い価値観や文化を感じる事が、今後の人生や研究活動を豊かなものにする新しい刺激となるよう、異国での様々な出来事を大切に感じながら過ごしていきたいと思っています。

北里大学で学んだ事が基である今の仕事も、近況報告バトンタッチがきっかけとなった渡米もそうである様に、北里大学には非常に大きな縁があると改めて感じております。また、北里大学時代に多くの時間を過ごした友人たちを思い出し、懐かしさを感じる今日この頃です。次のバトンは、同期生の友人で、教育の側面から科学に携わっている木村健太君に渡したいと思っております。



## 集会援助手続

### 理学部同窓会会員集会援助をご利用ください

#### 【集会責任者】

- (1) 集会援助申請書類の入手  
(事務局に問合せ、又はHPからダウンロード)  
① 会員管理システム利用申請書  
② 集会援助金申請書
- (2) 申請書①に責任者3名の署名・捺印
- (3) 申請書①の提出 (事務局へ持参、又は郵送)
- (4) 集会開催 ※
- (5) 申請書②および③訂正された会員データを提出  
(事務局へ持参、または郵送)
- (6) 集会の様子を原稿にして同窓会にご連絡ください! (任意)

#### 【理学部同窓会・事務局】

事務局の連絡先  
〒252-0373 相模原市南区北里1-15-1  
TEL/FAX 042-778-9032  
E-mail rigaku-d@nifty.com  
ホームページ  
<http://homepage1.nifty.com/kusaa/>

本会理事会での承認

申請のあった名簿一覧と郵送用タックシールの作成・提供

②、③を確認後、集会援助金を助成  
(案内状印刷・郵送費として、200人までの集会では¥200/人、201人から¥100/人)

#### ※援助を受けられる集会

- ① 同期会
- ② 参加者の60%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会
- ③ 医療衛生学部同窓会会員と合同で開催し、参加者の30%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会

## 同期会報告

### 男子厨房に入るべしの談 —二次会での話題—

HC2 前島 恵

二次会に先だって開催された合同同期会については、同窓会誌に書かせていただいたのでここでは化学科二期生が例年開催場所としている渋谷のレストランでの様子をお知らせします。

合同同期会から流れてきた方々と二次会からの参加者二、三名で総勢十名程でしょうか。比較的頻繁に開かれていることもあり、自己紹介、近況報告など同窓会で良く見受けられる話は省略し、極々自然に会話が始まりました。同期会での様子や感想、自分が年を取ったことは忘れて、驚きの!!!健康や食の話題のなかで、ひときわ印象に残った一コマを紹介します。

調理は化学である。化学の知識のある男子（最近何かと使われる女子ではない）卒

業生は時間的な余裕もあるでしょうから、積極的に調理に参加し、ひいてはその経験を生かして社会貢献するべし。50℃洗いの話はテレビからの聞きかじりの断片的な情報であるが、いまや最先端の調理に関する話題であろう。

とかく限られた過去の話題に終始し、マンネリで退屈になりがちな同窓会も、視点を少し変えれば手軽でホットな情報交換の場となることを実感したわたくしでした。



### 衛生学部化学科6期生同期会開催

HC6 小沼 和久

去る6月16日に衛生学部化学科6期生の同期会を白金本館「松実」で開催しました。先回は丁度20年前に白金本館の「カフェテリア」で開催していますが、この20年で白金キャンパスは大きく変わりました。もはや在学時にあった建物は薬学部3号館（当時のE号館）だけであり、参集者の中には、浦島太郎状態の方が少なくなかったものと思われます。

同期会を開催するにあたり、理学部同窓会事務局に名簿の利用申請をさせていただいたところ、85人の卒業生に対してすでに6人が亡くなり、不明者が9人いたことに驚かされました。その上名簿の非公開希望者が4人もいたので残りの66人に対して同期会の開催案

内を発送したところ、回収率は80%でした。

今回は二次会からの参加者を含めて28人に出席いただき、遠く鹿児島や島根、大阪、京都からの参加もありました。しかし、大部分の恩師が逝去され、その姿がないこともあって先回に比べると少し静かな会でしたが、青春時代を過ごした40余年前に気持ちは立ち戻り、和気藹々と実に楽しく時は流れて予定時間はあっという間に過ぎ、二次会々場のある六本木へと移動した次第です。

それでは、次回の同期会まで皆さんお元気で!



## 予告

## カミングホーム2013について

本会では、次年度内に北里OB教師の会との共催で、以下の概要でカミングホーム2013を開催予定です。

- 1 目的 教職にある北里大学卒業生に理学部にお出でいただき、教職を希望する理学部在校生にアドバイスを頂戴したり、理学部教職員との懇談を通じて相互の理解を深めていただくことを目的とします。
- 2 期日 平成25年秋を予定
- 3 場所 北里大学相模原キャンパス理学部校舎
- 4 対象 中学・高校の教職にある北里大学卒業生
- 5 内容 ① 教職希望学生との懇談会  
② 理学部教員との懇談会  
③ 懇親会

本会の行事の一つであるカミングホームは、平成14年8月に本会会員に母校を訪れていただく

企画として始まりましたが、その後教職にある北里大学卒業生を対象に理学部へお出でいただく不定期事業として平成17年11月に再スタートしました。目的は教職課程学生への支援、理学部の広報といったことにありました。この企画は理学部はもとより、大学からも一定の評価を得たことから、平成20年10月にカミングホーム2008として同内容で再度開催しました。

今回は、平成23年度の理学部教職員との懇談会で理学部から教職にある北里大学卒業生にお集まりいただくカミングホームの開催要請があり、また平成25年度から物理学科や生物科学科が入学定員増を行うことから、北里OB教師の会の協力を得てカミングホーム2013を開催することにした次第です。

本事業が理学部の発展に寄与できれば幸いです。

## 間島さん追悼



北里大学理学部同窓会理事・北里大学同窓会代議員として永年に渡り活躍していた間島勝徳氏（神奈川県予防医学協会臨床検査部長）が2012年11月2日に動脈瘤破裂

のため逝去されました（享年57歳）。

間島氏は1977年に北里大学衛生学部化学科を卒業、同年に神奈川県予防医学協会に入職。検査部に衛生検査技師として配属され産業保健、学校保健などの健康診断の臨床検査に従事しました。翌、1978年に臨床検査技師の資格をとるため北里衛生科学専門学院第二部（夜学）に入学し、正規の課程3年間を就学し卒業、北里における学生生活7年間を成し遂げました。臨床検査技師としては、生理機能検査専門とし、学童心臓病検診など種々の検査の現場のリーダーとしての役割を担いました。1984年、職場の同期の星真由美さんと結婚し家庭を築いた後は、労働組合活動にも意欲を燃やし1994年には神奈川県予防医学協会従業員組

合（現労働組合）執行委員長に就任、労働者の団結と労使交渉に心血を注ぎました。また学術分野では神奈川県臨床衛生検査技師会生理機能検査研究班や予防医学事業中央会学術委員会などの役員も歴任されました。

理学部同窓会の理事としては、就職ガイダンスに当初から積極的に参画し模擬面接の面接官役を流暢にこなされていたことも記憶に残っています。2009年10月に奥様を病気でなくされてからは、大分気をおとされていましたが、仕事や同窓会活動を気丈に熟していました。それから満3年にして間島氏も逝ってしまわれました。

莊子の説話「胡蝶の夢」のごとく、今、彼は現世で間島勝徳であったことは全く念頭になく、喜々として胡蝶になりきり、奥様の胡蝶と仲睦まじく、楽しく心ゆくばかりひらひらと天空を舞っていることでしょう。

慈徳清健居士（俗名 間島勝徳氏）のご冥福を心からお祈りいたします。合掌。

理学部同窓会理事 島崎道広

## 【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様からも是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「進路・就職」から入力できますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も「進路支援システム」（現「就職システム」を平成25年3月末でリニューアル）がご利用できます。ご利用頂く場合には、ID・パスワードが必要となりますので、就職センターまでご連絡ください。

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745・9747  
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

## 同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 「理学部パンフレット同封について」

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

### 「会報への寄稿について」

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽に寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

### 「同窓会へのメールについて」

最近、迷惑メールが増加して参りました。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

<卒業年または卒業期、卒業学科、氏名>

記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または  
6HC 理学太郎



## 編集後記

会員の皆さまこんにちは。化学科3期生の中野章代（旧姓鈴木）です。同窓会報第16号が完成致しましたのでお送りします。寄稿いただきました方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。同窓会報につきまして、ご意見ご感想がありましたら是非事務局までお寄せ下さい。

この度は、長年同窓会理事を務めて参りました間島理事の訃報をお届けすることになり本当に残念でなりません。表紙の写真でもあります平成24年度定期総会の時にはお元気でいらっしゃいました。これからまだまだ同窓会の仕事をご一緒できるものと思っていましたので、もっと沢山色々なこととお話しておけば良かったと後悔でいっぱいです。初めて同窓会の理事会に参加したときに優しく話しかけて下さったこと、毎年違う山頂での奥様とのツーショット写真の年賀状をいただいたことなどが思い出されます。残った役員で間島理事の分もこれから同窓会の仕事を頑張っていきたいと思っております。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

## 北里大学理学部同窓会報

発行 平成25年2月28日  
発行者 北里大学理学部同窓会  
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1  
北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032  
E-mail : rigaku-d@nifty.com  
責任者 沼上清彦

## 平成25年度 北里大学オープンキャンパス等日程

北里大学相模原キャンパスにおきまして、受験希望者や保護者を対象としたオープンキャンパス等を下記の日程で開催します。同窓会の皆様におかれましては、ご子弟、ご関係者の皆様にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

<p><b>【オープンキャンパス】</b></p> <p>○第1回</p> <p>日 時 平成25年7月20日(土) 13時～18時 21日(日) 10時～16時 *理学部体験入学を同時開催します。</p> <p>実施内容 大学・学部概要説明、講演会、模擬講義、模擬実習、個別入試相談、シリーズ入試対策講座、施設見学、キャンパスツアー等</p> <p>○第2回</p> <p>日 時 平成25年8月25日(日) 10時～16時 *理学部オープンレクチャーを同時開催します。</p> <p>実施内容 大学・学部概要説明、講演会、模擬講義、模擬実習、個別入試相談、シリーズ入試対策講座、施設見学、キャンパスツアー等</p>	<p><b>【進学相談会】</b></p> <p>○第1回</p> <p>日 時 平成25年10月6日(日) 10時～16時 実施内容 大学・学部概要説明、シリーズ入試対策講座、個別相談、キャンパスツアー、在学生との懇談コーナー等</p> <p>○第2回 *北里祭期間中</p> <p>日 時 平成25年11月2日(土)～3日(日) 10時～16時 *理学部オープンレクチャーを同時開催します。</p> <p>実施内容 大学・学部概要説明、シリーズ入試対策講座、個別入試相談、施設見学等</p> <p><b>【大学説明会】</b></p> <p>日 時 平成26年3月23日(日) 10時～16時 *理学部オープンレクチャーを同時開催します。</p> <p>実施内容 大学・学部概要説明、模擬実習、シリーズ入試対策講座、個別入試相談、施設見学、キャンパスツアー等</p> <p style="text-align: center;">*実施内容は予定。</p>
---	--

## 平成26年度 理学部入学試験日程

平成26年度(平成25年度実施)入学試験日程は以下のとおりとなっています。

理学部では、生命科学の基礎分野で研究力を身につけた人材を社会に送り出すことを使命とし、充実した教育・研究を実施しています。これらの使命をさらに発展させていくため、北里大学理学部の志を受け継いだ同窓生のご子弟の方々の入学をお待ちしております。

※日程及び試験制度は予定であり、今後変更となる可能性があります。

<b>公募制推薦</b>	募集人員	物理学科 4名 化学科 10名 生物科学科 10名		
	試験日	平成25年11月24日(日)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間 合格発表日時	平成25年11月1日(金)～平成25年11月15日(金) 平成25年11月29日(金)13時		
<b>指定校推薦</b>	募集人員	生物科学科 5名		
	試験日	平成25年11月24日(日)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間 合格発表日時	平成25年11月1日(金)～平成25年11月15日(金) 平成25年11月29日(金)13時		
<b>一 般</b>	募集人員	物理学科 22名 化学科 55名 生物科学科 35名		
	試験日	平成26年2月3日(月)	試験場(3会場)	相模原キャンパス・地方会場(2ヶ所)
	受付期間 合格発表日時	平成25年12月17日(火)～平成26年1月24日(金) 平成26年2月12日(水)13時		
<b>センター試験利(前)</b>	募集人員	物理学科 10名 化学科 10名 生物科学科 15名		
	試験日	平成26年1月18日(土)・19日(日)		
	受付期間 合格発表日時	平成25年12月17日(火)～平成26年1月17日(金) 平成26年2月13日(木)13時		
<b>センター試験利(中)</b>	募集人員	物理学科 7名		
	試験日	平成26年1月18日(土)・19日(日)		
	受付期間 合格発表日時	平成25年12月17日(火)～平成26年2月4日(火) 平成26年2月26日(水)13時		
<b>センター試験併</b>	募集人員	物理学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成26年2月17日(月)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間 合格発表日時	平成25年12月17日(火)～平成26年2月3日(月) 平成26年2月26日(水)13時		
<b>センター試験利(後)</b>	募集人員	物理学科 2名 化学科 5名 生物科学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成26年3月5日(水)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間 合格発表日時	平成26年2月7日(金)～平成26年2月26日(水) 平成26年3月12日(水)13時		

# 理学部事務室より

## ● Kitasato100×50 プロジェクト

2012（平成24）年、北里大学が創立50周年を、2014（平成26）年には北里研究所が創立100周年を迎えます。学校法人北里研究所は、これを契機に創立記念事業「Kitasato100×50 プロジェクト【未来科学の創造～Pioneer the Next～】」をスタート。様々な記念行事を行っています。



### 1. 熊本県阿蘇郡小国町 北里柴三郎記念館を整備します

北里柴三郎博士が1916（大正5）年に建てた貴賓館及び北里文庫があった敷地に、1987（昭和62）年北里研究所、北里学園が中心となって生家を復元修復。遺品等を陳列し、小国町に寄贈したのが「北里柴三郎記念館」です。学校法人北里研究所では、平成24年8月から生家の改修工事に着手しています。

### 2. 北里大学校歌が完成しました

北里大学創立50周年を記念し、大学創立以来悲願でありました北里大学校歌「生命の北辰（いのちのほくしん）」〔作詞・黛まどか、作曲・千住明〕が完成しました。

スクールカラーの「紺青」から始まる校歌は、美しく壮大な旋律と、学祖の生涯と本学の理念が籠められた歌詞が見事にマッチし、北里大学が誇る素晴らしい校歌となっています。

## 北里大学校歌

いのち ほんしん  
生命の北辰

作詞 黛まどか  
作曲 千住明

この学び舎に励みしを 風雪に堪えいつの日か  
月桂冠を戴きて 未来につないでゆく観智  
その絶頂を極めんと  
切磋琢磨の 実学を  
世に捧げるを 報恩とせり

暁告げる産声は 牧場を渡る風に乗り  
白波立つるわだつみの 底にひしめく 命美し  
雨に照る日に 虹かけて  
天地統べて 揺るぎなし  
ああ北里は 羅く北辰

朝な夕なに とこしえに  
あまたの星を従えて  
ああ北里は 生命の北辰 生命の北辰

紺青尽くす天穹に ひとつの星を探すごと  
白金の地にひたすために 学祖が追求めし医の真理  
安寧の世を築くため  
雷のごと 貫いて  
拓きし道を 歩む我らぞ

### 3. 記念行事

他にも様々な記念行事が進行中です。詳細は100×50サイトをご覧ください。理学部同窓会の皆様のご参加をお待ちしております。

【記念事業ホームページ】 <http://www.kitasato.ac.jp/100x50/>

【特設Webサイト】 <http://kitasato-respectlife.com/>

## ● 平成25年度理学部入試が変わります

### 北里大学 理学部

平成25年度理学部入試が変わります

#### 1. 入学定員増

●物理学科 40名→50名 ●生物学科 60名→70名

#### 2. 新たな入試制度

●物理学科

#### 大学入試センター試験利用入学試験（中期）

●利用する科目

・「英語（リスニングテストを含まない）」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」「国語（近代以降の文章）」のうち高得点の1科目を採用  
・「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」のうち2科目を採用 ～理科についての幅広い能力を重視します！～

●大学入試センター試験利用入学試験（前期）との違いは？

→中期入試は、出願期間がセンター入試受験後ですので、自己採点后に出願することができます。

●大学入試センター試験利用入学試験（併用）との違いは？

●大学入試センター試験利用入学試験（後期）との違いは？

→中期入試は、センター試験の本学部が指定した教科・科目の成績などにより合否を判定します（個別学力検査はありません）。併用入試では個別学力検査【数学】、後期入試では個別学力検査【面接】を実施します。

●生物学科

#### 指定校推薦入試

※対象校に個別に通知する指定校推薦入試募集要項をご確認ください。

※詳細は、学生募集要項及びホームページにてご確認ください。

## ● 教材の貸し出しを行っています

教員となられた卒業生の皆様に、ニワトリ胚標本、透明骨標本セットを教材として貸し出しています。教科書で教える動物発生よりも後の段階になりますが、肉眼で観察できますので、生徒の興味を惹く素材としてご利用いただけます。



詳細は下記（学生係）までお問い合わせください。

## ● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援により、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたく、よろしく申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

～母校・北里大学に足をお運びください～

毎年、11月の第1土曜日・日曜日に、北里祭が行われます。当日は進学相談会も同時開催され、すべての研究室を開放しております。また、相模原キャンパスは、大学新病院建設工事も始まっており、毎日少しずつ姿を変えております。ますます進化していく母校を是非お訪ねください。

なお、理学部入試の過去問題、パンフレット等の頒布を行っています。詳細は北里大学ホームページ（<http://www.kitasato-u.ac.jp/>）をご覧ください。

## お問い合わせ先

### 理学部入試に関すること

TEL 042(778)9172(入試係直通) FAX 042(778)9953

### 就職に関すること

TEL 042(778)8545(学生係直通) FAX 042(778)9953

### 大学院入試に関すること(理学研究科入試係直通)

TEL 042(778)9083 FAX 042(778)9953



健康への自信や過信は要注意。  
定期的な健康診断を。

自分は“大丈夫”と思っていても、生活習慣病などは自覚症状がないまま  
静かに進行している場合があります。健康管理には定期的な健康診断が一番。  
身近で頼れる健康管理のパートナーとして、これからも新しい風を送り続けます。

健康診断・人間ドックの にっ けん きょう 日健協



一般財団法人  
日本健康管理協会

本 部	〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テブコビル3F	TEL:03-5250-0300
新宿健診プラザ	〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-31-12	TEL:03-3209-0211
東京支部	〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-31-11 第2モナミビル3F	TEL:03-5273-8201
北関東支部	〒372-0825 群馬県伊勢崎市戸谷塚町629-1	TEL:0270-32-7575
栃木事務所	〒328-0053 栃木県栃木市片柳町2-4-33 山本ビル2F	TEL:0282-20-1207
仙台事務所	〒980-0023 宮城県仙台市青葉区北目町2-22 今板ビル4F	TEL:022-263-4470
山形健康管理センター	〒990-0813 山形県山形市検町4-8-30	TEL:023-681-7760

日本健康管理協会のホームページ <http://www.nikkenkyo.or.jp>